

「逆境を力に」変えた

AIJ会員
株式会社 柊

代表取締役 青木 隆一

《プロフィール》

一九八三年八月十五日墨田区生まれ、青梅育ち。小学五年生より野球を始める。高校へは野球特待生として山梨の強豪、日本航空高校に入学、野球に明け暮れる日々を過ごす。卒業後、北海道にある、日本航空専門学校にて学び、成田空港で働き始める。退職後、木材の生産・販売・卸売業に転職、その後独立し現在に至る。

【鈴木室長】本日は宜しくお願います。青木さんの仕事は？
【青木会員】材木業、材木に関する、仕入れ、販売、廃材を再利用し輸出、お客様と仕入れ先の販路拡大などを行っています。
【鈴木室長】なぜこの仕事に従事されたのですか？
【青木会員】母親のつながりで現在の仕事につながる前職に転職しました。そこでノウハウを学び、会社とのごたごたもあり、バチバチで独立しました。笑
【鈴木室長】会社設立時はどのようなに仕事を増やしていたのですか？

鈴木広報室長×青木会員

THE 対談

HI-RAGI

- Wood Storage -

【青木会員】ものすごく歩いた。工業地帯を端から端まで片っ端から飛び込み営業をして回った。何度か話をしていくうちに、声をかけてもらいそこで出た話を基に、可能性を信じ地方までも行っていた。当時はほとんど家にも帰れなかった。
【鈴木室長】『逆境を力に』変えたことは？

【青木会員】仕入れ先にお前に売るものは無い、廃材のゴミなら売ってやると『嫌味』を言われた。その時、廃材をお金に換えることを考え廃材に、ひと工程加えることで売り物になることに気付きました。誰も目につけない廃材に目を向けたことが利益を生み出すきっかけになりました。

【鈴木室長】今後の展望は？

【青木会員】暇な時こそ考える、先を見据えてコロナ過の暇なときに種まきをしている。これからの先を見てカメラを買ったりドローンを買ったりしています。笑

これから誰も手が付けないことに気付き、そこに価値を生み出し廃材などを使ってエコなものをSDGsにからめてやっていきたいです。上場企業からも廃材を使った商品のことも話をいたしています。

【鈴木室長】本日は貴重なお話しをお聞きして私自身、これからの仕事に対する意気込みを再認識させていただきました。ありがとうございました。

【認証されて】
大東興建株式会社 後藤 隆博

祝入会



太陽の街八王子で外構・エクステリア・造園の設計施工、不動産業を行っております。
私が入会を決めた理由は、地域活性や人材育成の例会だけではなく、ビジネスの為になるような例会が多いと感じたからです。企業が持続的に成長するには、常に変化する世の中に対応することが、現代社会には不可欠です。常にアンテナを張り、最新の情報を集めることが重要だと思っています。
昭島市については、今までご縁がなく、くじらの化石や水がおいしい、昭島市長のノリが良い、くらいしか今は分かりませんが、皆様と活動を共にすることで、昭島市について学び、昭島市の発展に少しでも寄与できればと思います。
AIJの活動を通じて、企業のリーダーとして資質の向上に励むと共に、地域のリーダーになれるよう活動して参りますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。